

〈森と生きる温泉リゾート〉

草津温泉 ホテルヴィレッジ

標高 1200m の山の上、
舞台は天下の名湯・草津温泉。
東京ドーム 7 個分の敷地には、「自然」「温泉」「食」「アミューズメント」が豊富に取り揃い、お客様からご年配まで幅広く楽しめる。
四季折々、表情を変える豊かな自然が迎えてくれる“森のリゾート”。

草津温泉 ホテルヴィレッジで働くということ ——

就職活動をされているみなさんは、将来をイメージして自分に合う企業を模索していることと思います。冒頭で申し上げますが、草津温泉は日常的に利便性や娯楽施設などを求める方にとっては正直向いていない環境かもしれません。ですが、ゆっくりと流れる時間の中で、仕事とプライベートどちらも大切にしたいと思っている方や、自分で考え行動し、お客さまの心に寄り添いながら接客し、成長していきたいと考えている方にはきっとやりがいを感じていただけの場所です。都心と比べれば利便性はありませんが、玄関を開けたときに見える景色が車通りの多い道やコンクリート・ビルの近くではなく、視界いっぱい緑が広がり、通勤時も美しい空気を吸いながら、森林の中で木漏れ日を浴び、鳥のさえずりを聞きながら歩く道のりは「今日も頑張ろう！」という前向きな気持ち

にさせてくれます。それは私たちホテルヴィレッジ含め、森のリゾートで働く大きな強みです。仕事の面では、人事評価制度に目標管理制度(MBO)を取り入れ、年に2回上司と面談する機会を従業員一人ひとりに設けています。自身の目標や改善点、想いや考えを明確化して伝えることで自分の仕事の幅や上長の自身に対する理解も広がっていきます。年齢・ライフステージ・仕事を通して、なりたい姿は変わっていくと思いますし、そうした考えを私たちは尊重しています。実際に接客に慣れて入社したスタッフも、宿泊や料飲などお客さまとの接客を主とする部門から、総務人事や営業企画などの管理・販売の部門に異動しておりますので、様々な働き方やチャレンジができるということはホテルヴィレッジで働くひとつの魅力だと自負しております。



ホテルヴィレッジについてご紹介します！

株式会社中沢ヴィレッジ
総務人事課係長
千嶋 琴音さん

県内・県外スタッフの割合

ホテルヴィレッジでは地元群馬県出身の従業員が全体の3割、東京、千葉、神奈川、埼玉などの関東出身者が4割、残りの3割は北海道や東北、関西出身といった割合です。他にも、当社では外国籍の従業員が多く在籍しています。様々な文化、考え方に触れられるという点で、草津で一番多様性のある職場ですし、同じ国籍の仲間同士コミュニティがあるので、休みの日も孤独を感じることはありません。実際に私も19歳で移住してきて、当時は一人暮らし、環境、交友関係など「初めて」がたくさんで、漠然とした不安を抱えていましたが、草津町は観光・移住関係なしに優しく迎えてくれる人た



ちが多く、初めての一人暮らしでも安心して暮らせる町です。仕事の後に温泉に浸かって疲れを癒し、休みの日は同僚と温泉街を巡り地元の人と交流したり、都会では味わうことのできない贅沢な日常、四季を五感で感じながら送る生活そのものがリゾートです。

求める人材要件

1. 周囲の状況を的確に把握し、相手が望むことを考え実践できる人
2. 優しさや誠意をもって、誰かのために一生懸命になれる人
3. 責任感が強く、自分の意思をもって行動できる人
4. 常に物事を客観的・現実的に判断できる人
5. 様々な価値観を理解し、人間関係を大切にできる人



草津温泉 ホテルヴィレッジでは求める人材要件の5つのうち、1つでも自信がある、または当てはまると感じる方を求めています。

苗木が水や陽の光で成長し、長い年月を経て木になり、そして森となるのと同じように、企業もまた同様にたくさんの人、個性があり、成長していくには新しい考え方や価値観が必要不可欠です。十人十色、1人ひとりに個性がありますし、良いところも悪いところもそれぞれだと思えます。「人」がいてこそその業界であり、「仲間」がいるからこそ人としても企業としても成長していけます。どれだけ真面目に、熱心に就職活動をしていても、不透明なことや不安や葛藤などを抱え大変な時期だと思いますが、同時に自分を見つめ、自分と向き合うこの機会は、今よりもっと自身を知り、そして好きになれる時期でもあります。

皆さんが就職活動中にたくさんの企業や人と出逢う中で、弊社とご縁がありましたら、大変嬉しく思います。皆さんの就職活動が悔いの残らないものとなりませう応援しております！



企業情報



採用サイト



若手×中堅スタッフに聞いた！ リゾートホテルで働いて ぶっちゃけどうなの？

Q1. リゾートホテルはいろいろある中で、なぜ森のリゾートを選んだのですか？

亀井 私は転職で当社に入社しました。特に「森」とか「海」とかの概念って無かったんですけど、4年住んでみて森のリゾートは四季を感じられるところが魅力です。GWに桜が咲き、夏には山の青さ、秋には紅葉を見ながら、冬は雪をズボズボしながら。日々楽しいと感じます。……というのは後付けで（笑）。なによりホテルヴィレッジで働く人たちの人柄に魅力を感じたのが一番の入社の決め手でした。

飯野 私はもともと自然の多い環境で生まれ育ったので、将来も自然の多いところで働きたいと思っていました。就職活動の時は都道府県問わず海のリゾートも含め探していて、その中で当社を選ぶ決め手となったのは、亀井さんと似てしましますが会社説明会の時の温かい雰囲気と社員の人柄に惚れたことです。あと、もともと温泉好きな私にとっては草津温泉のブランドにも心惹かれ、自然と温泉がいっぱいの草津温泉は私にとっては贅沢な環境ですね。

Q2. 休日は何をしてお過ごしていますか？

亀井 買い物や映画鑑賞、髪を切りに行く際は車で1日かけて出掛けます。冬になるとスキー場が開くので同僚と誘い合ってウィンタースポーツに行ったり。あとは年



間22日間の計画休館があるので、長期休暇も取りやすい体制です。長期休暇を取ったときには、実家にゆっくり帰省します。とは言っても、東京まで高速バス1本で4時間程度なので、1泊でも全然帰れちゃう距離ではあるんですけど。

飯野 1日のお休みなら温泉に入りに行きます、絶対！（笑）草津に住み始めてからまだ2年ですけど、源泉の種類によって肌触りや温度の違いがあって、実家のお風呂に浸かると「ああ、お湯だな」と草津温泉が恋しくなるくらいに肌が草津の湯に慣れてしまいました。

亀井 草津温泉に来て温泉ソムリエの資格を取りました。お客さまへのご案内にとっても役立ってますし、自分でも温泉に入るとその温泉にある効能表が気になってじっくり見るようになりましたね。

Q3. 寮生活は正直どうですか？

飯野 寮はワンルームタイプのお部屋なので、プライベートが確立されていて安心です。同僚も住んでいるので、みんなと一緒にワイワイ過ごす時間も楽しいです。草津って車が絶対必要ってイメージあると思うんですけど、同期や先輩が乗せてくれるので、車がなくても全く問題ないです。近くにスーパーもコンビニもあるので、食材確保にも困りません。

亀井 私はリゾートマンションに住んでいるのですが、東京に住んでいた頃を思い返すと、通

勤は満員電車で往復2時間かけていたのが、今は車で5分。2時間の無駄になっていた時間が自分の自由時間に変わりました。1Kに住んでいたけど今は同じ家賃で13畳の1DK、そして毎日源泉かけ流しの温泉三昧です。

Q4. 移住で苦労したことは何ですか？

亀井 GoogleMapで草津温泉を見てみたら、全面緑に覆われていて、「こんなところに住むの？」と親に心配されましたけど、来てみたらそんなことなかったですね。生活では買い物不便だと感じることはありますが、ネットショッピングを覚えたので、不便さは解消されました。ただ、UberEatsへの憧れと、たまにファストフードが恋しくなります（笑）。

飯野 大学も地方だったので、そんなに不便は感じなかったです。歩くのが好きな私にとってはスーパーまでの道のりも全く苦になりません。ただ、雪の多さにはさすがびっくりしましたが、どんなに雪がなくても歩いて買い物に行きます。

Q5. 仕事のやりがいとは？

飯野 入社1年目の頃は大変なこともたくさんありましたが、お客さまにお料理を提供したときや、お褒めのお言葉をいただけたりと「よし！もっと頑張ろう！」と思えました。この気持ちは今も変わりませんが、2年目になり、後輩への指導・教育をすることで改めて自身の成長を実感して

います。先輩として教育していく上で、より知識を蓄えていきたいと感じています。今後も失敗を恐れず、たくさんの方にチャレンジしていき、インプット・アウトプットを繰り返し、新しい知識をどんどん吸収し、今よりもっと成長していきたいなという、やる気と活力に満ちています。

亀井 ちょっと自慢していいですか？私、名指しのお褒めを年間で50件以上いただいたんです！社内表彰もされて嬉しかったです。現在は係長の役職をいただき、フロント・ロビーに立って接客することよりも、新入社員含めたスタッフ育成がメイン業務となりました。「作業」ではなく「仕事」の出来るスタッフになってもらいたいという想いで日々奮闘中です。今では、スタッフの成長がやりがいです。

Q6. 移住に向いている人はどんな人でしょうか？

飯野 明確でなくてもやりたいことや目標をなんとなく持っていたり、チャレンジ精神のあるかたには向いているんじゃないでしょうか。私の目標は、お客様との距離が近い接客に携わりたい気持ちでリゾートを選び、もともと地方への抵抗もなかったのが、移住に向いていたんだな～と感じています。

亀井 好奇心旺盛で、その場を楽しめる人でしょうか。草津には一期一会の出会いがあります。地元の方々とはともフレンドリーで、行きつけの店も増え、交友関係が広がりました。たまたま居合わせた観光客と話すこともあります。また、美味しい料理やお酒に巡り合ったり。私のような様々な出会いを楽しめる人には向いているんじゃないかなと思います。



草津温泉 ホテルヴィレッジ 宿泊部門 フロント・予約係 亀井歩 (かめい あゆむ) さん

〈入社エピソード〉前職はシステムエンジニア。1日10時間近くPCと向かい合い、納期に向けてひたすら作業。挨拶以外の言葉をまったく発しない職場環境で、人と話したい想いが強くなり転職を決定。参加した合同会社説明会でホテルヴィレッジと出会い、中澤社長や人事と話した際、他業種からの転職を考える私の気持ちに寄り添い、過去も含めて親身になって話を聞いてくださり「この人達と働きたい」と感じ、第一志望で応募しました。



草津温泉 ホテルヴィレッジ 料飲部門 飯野 凪 (いのの なぎ) さん

〈入社エピソード〉大学を卒業するタイミングで新型コロナウイルス感染症が流行し、就職活動も思うように出来ていなかった。ホテルヴィレッジの選考中は他社の選考も同時に進めていて、就職活動に思い悩んでいた時、人事の方が「凪さんが納得できるまで、思う存分就職活動をやり切ってください。私たちは待っていますので、ゆっくり就職を行ってください」と、他社を選考している立場の私に対し、温かい言葉をかけてくれました。想像もしていなかったその言葉に思わず感動し、ここなら自分の思い描く接客を実現できると思い、入社を決定しました。



若い世代が思う存分 活躍できる場を――

株式会社中沢ヴィレッジ
取締役

なかざわ まきこ
中澤 牧子 氏

草津温泉の魅力は、豊かな自然環境と関東随一の草津温泉が掛け合わさったところ。大自然を満喫できるリゾートは日本にたくさんあるでしょう。温泉が素晴らしい地域やホテル旅館も各地に数多く存在しています。自然と温泉が掛け合わせ、春夏秋冬楽しめるアミューズメントを提供する森のリゾートはここにしかありません。

草津温泉 ホテルヴィレッジでは、山の青さや燃えるような紅葉、一面銀世界と化す雪景色、四季折々の自然が移ろいゆく姿と共に、あくせくせずに働ける環境があり、それは都心では得られない大きな価値です。

新型コロナウイルス感染症や戦争、気象変化による異常災害など、未曾有の事態が次々と起こる中で、人々の注目や関心は、サステナビリティ、さらには自然回帰の方向へと流れており、地方に移住する若い方も増えてきました。私たちが普段当たり前に感じている緑豊かな森や豊富な温泉が、人々の疲れを癒す大きな力があるということを改めて強く感じました。それはお客さまだけでなく、従業員にとっても同じなのではないかと思えます。伝統的な温泉地の中でその歴史や文化に触れたり、温泉巡りや森林浴を体験する中で、自分の経験がそのまま資格取得に活かしたり、学び得た知識をお客さまに伝えられる、誰かの癒し、誰かの喜び、誰かの思い出をアシストする、そんな役割を担うことが出来ま

す。当ホテルの大きな特徴の1つとして、季節によって客層がガラリと変わります。例えば、夏に一番多い客層はご家族連れや三世代ですが、秋

は団体募集やシニア、ゼミ旅行の学生など、季節折々様々な客層に合わせた対応やサービスを求められるので、それに伴う対応力と判断力が身に付くことで、自己成長にも繋げられます。

当社の社是「歩み入る者にやすらぎを 去りゆく人に幸せを」は、私たちに関わる全てのステークホルダーに向けられています。歩み入る者とは、お客さまだけでなく、従業員、そのご家族、お取引業者、地域の人々。そして幸せとは、感謝、笑顔、活力、やりがいなどを表します。当社は決して洗練されたスマートなホテルではありませんが、素朴な人の温かさ、森のリゾートの大きな魅力があり、色々な意味でアットホームな環境であり、ひとときの思い出を刻んでいただく場所として、人に喜んでもらいたい、人に寄り添いたい、そんな想いを持つ仲間が揃っています。

宿泊業界は「人が好き」という方が非常に多いのですが、これからはそれだけではなく、多様化するお客さまに対応するため、社会、環境、自然、観光、食、地域、語学、国際情勢、などに対する色々なことに貪欲に興味・関心を持つ人、人から提供されるものを待つのではなく、自ら求めてその興味・関心をどんどん掘り下げて学んでいけるような人。そんな方にこそ、観光産業、リゾートに足を踏み入れていただきたいと思っています。あなたのキャリアの一步目としての大きな決断が待っているわけですが、安心して飛び込んで来てください。長い人生の中で、ご縁があってホテルヴィレッジを選んでいただける方にお会いできることをスタッフ一同心より楽しみにしています。

私たちの役割は 自然と温泉のインタープリター

〈プロフィール〉
群馬県草津町出身。中央大学商学部卒業。
システム開発の営業を経験した後、1994年株
式会社中沢ヴィレッジに入社し、東京営業所
営業部に配属、総支配人や営業本部長、管理
本部長、代表取締役副社長を経て、2020年4
月に代表取締役社長就任、現在に至る。

株式会社中沢ヴィレッジ
代表取締役社長

なかざわ かずひろ
中澤 一裕 氏



「旅」は人間の本能であり、私たちはそれに寄り添う仕事、そしてリゾートとは人を元気にする仕事だと私は考えています。草津温泉は、人口6,000人強のとても小さな町ですが、9割以上の方が観光関連産業に従事していて、魅力あふれる観光地としての成長発展のために町全体が協体制で「草津温泉」を盛り上げています。

草津＝温泉とイメージされる方が多いと思いますが、白根火山の麓に広がる素晴らしい大自然に囲まれていて、四季を通じて様々なアクティビティを楽しめます。しかしながら、一泊二日型が主流の旅行では温泉街だけで終わってしまうので、今後の長期滞在を促進し、草津温泉の「滞在二日目の楽しみ」として多くのお客様に自然との出会いの機会を創出するために「ベルツの森の花畑計画」を進行しています。

創業55年目、草津温泉初のリゾートホテルとして、草津温泉そしてVILLAGE =村にさらなる賑わいを創りたい、一企業として今後も町づくりに貢献していきたい、そんな想いでこのプロジェクトを発足しました。いつ来ても変わらない温泉街もホットしますが、季節の移ろいを楽しむ自然は2度3度と訪れる度に景色が変わります。その素晴らしさ、懐の深さ、様々な自然の表情に気付いていただけるようなコンテンツを提供したいと思っています。

また当社はSDGsの取り組みとして、「伝統文化の継承・保護、草津温泉の自然と温泉の豊かさを守り、人に伝えること」に注力しています。現在、群馬県の有識者を発起人として日本中で「日本の温泉文化を世界無形文化遺産登録しよう」という計画が始動しており、群馬県温泉協会会長である

弊社会長はこちらで精力的に活動しています。「温泉文化」を古来から親しまれた癒しと楽しみの日本の伝統文化そのものとして、世界に広く認知してもらい、温泉を取り巻く歴史・観光・自然・人が日本の観光アイコンのひとつとして揺るぎない地位を築き、観光従事者が文化の担い手・継承者としての役割を確立できた時、日本の観光産業のさらなる繁栄に繋がると考えています。この産業に携わる者として、世界中のお客様に日本の温泉文化の魅力が広まるよう大きなムーブメントを起こし、持続可能な産業へと花開かせたいと考えています。

……このような大きな話をしていますが、私自身この業界に入る前は東京でサラリーマンをしていました。仕事三昧で、収入とステータスを得る、そんな生き方もありますが、私は自分の生活や時間を犠牲にするよりも、ワーク・ライフ・バランスを大切にしたいと強く感じました。

冒頭でリゾートは人を元気にする仕事だと申し上げましたが、そのためにはまず私たち自身が遊び上手であり、好奇心旺盛でなければリゾートの魅力は伝えられません。自分の時間を持ち、興味あることに触れ、遊び方、楽しみ方を知って欲しい。プライベートを充実させてこそ仕事も楽しめて、心身ともに健康でいられる。時代と共にリゾートも形を変えながら歩んでいきたいと思いますが、人との対話を大切に、言葉を持たない自然・温泉、地域の魅力、そういったものをお客さまに伝えられるインタープリターという役割は、「人」だけが担えるものです。こういった考えに共感いただける方にこのVILLAGE =村の仲間になっていただきたいと思っています。